

1. 本県周辺海域の概況(10/17現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・黒潮の流型は直進的なN型を示しています。黒潮本流は犬吠埼沖をやや接岸傾向で通過した後、本県沖合を東北東に流去しています。
- ・親潮の先端位置は北緯39° 30′ 東経145° 30′ 付近(青森県沖合)にあり、親潮の面積は平年並～小さめです。
- ・10月上旬に台風17号・19号が太平洋側の東北海区沖合を通過した影響により、東北海区の広い範囲で表層水の鉛直混合がおきました。このため、前月と比べると海面水温が大幅に降温しました。

2. 海洋観測結果(10/13~16:ときわ)

- ・台風・時化等の影響により、会瀬および大洗定線の沖合定点(東経141° 以东)が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、大洗・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は、会瀬沖で21.2~21.8℃, 大洗沖で21.6~22.1℃, 鹿島沖で21.0~25.4℃, 犬吠埼沖で21.9~24.8℃でした(図2)。
- ・台風17号・19号が相次いで本県周辺海域を通過した影響により、表層水の鉛直混合がおきました。このため前月と比べると、表層では全域で降温(-6~-1℃)するとともに、50m深では全域で昇温(+1~+6℃)しました。100m深についても、犬吠埼定線沿岸を除いた全域で前月よりも昇温(+1~+4℃)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、表層では「平年並」、下層では「平年並～きわめて高め」、極沿岸では「平年並～やや高め」となりました(図8~9, 図16~17)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型はN型基調で推移するとともに、本県沖合での黒潮流路は東北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮系冷水は本県沖に直接影響しないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、表層では「平年並」、下層では「平年並～高め」、極沿岸では「平年並～やや高め」で推移するでしょう。

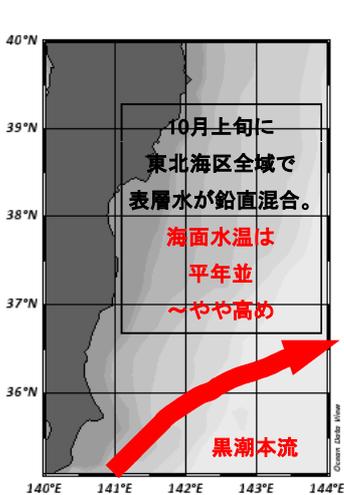


図1 海況の概要
(10月17日現在)

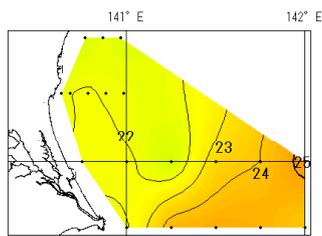


図2 海面水温(°C)

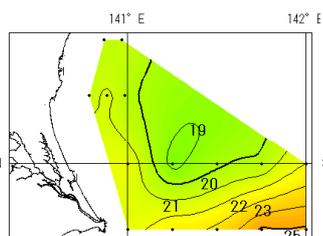


図3 50m深水温(°C)

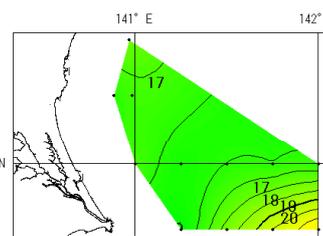


図4 100m深水温(°C)

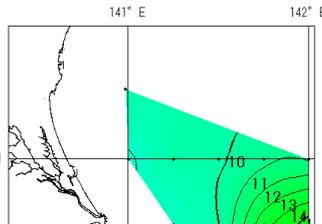


図5 200m深水温(°C)

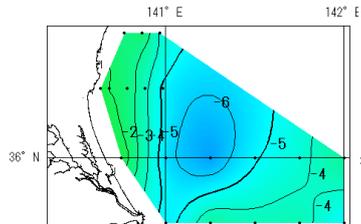


図6 海面水温前月差(°C)

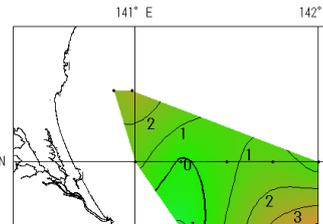


図7 100m深水温前月差(°C)

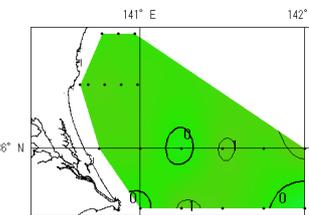


図8 海面水温偏差(°C)

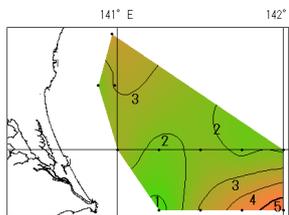


図9 100m深水温偏差(°C)

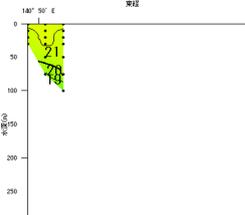


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

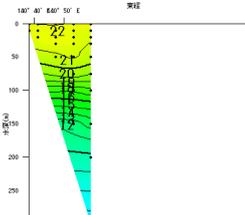


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

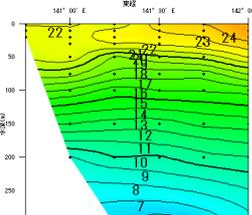


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

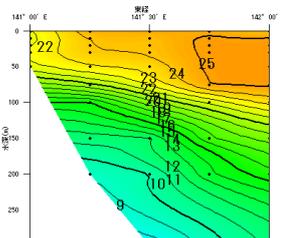


図13 犬吠埼沖
鉛直水温(°C)

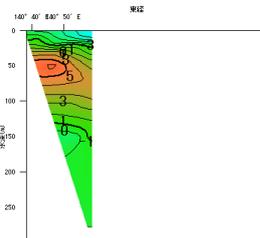


図14 大洗沖鉛直
水温前月差(°C)

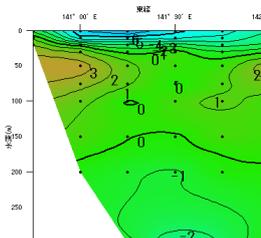


図15 鹿島沖鉛直
水温前月差(°C)

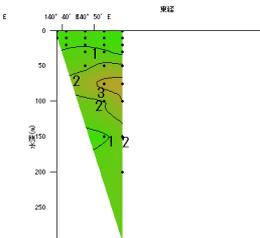


図16 大洗沖鉛直
水温偏差(°C)

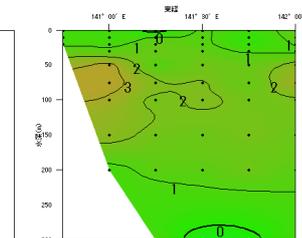


図17 鹿島沖鉛直
水温偏差(°C)